

お墓じまいで
迷いやすいポイント
失敗から学ぶ進め方

あとから迷わないために
先に知っておきたいこと

そっと読めるガイドです

お墓じまいは、

何から始めればいいのか分からない
このまま進めていいのか少し不安

そんな状態から始まることがあります

特別に難しいことではなくても、

順番が分かりにくい
誰に何を聞けばいいのか迷う

その中で、
手が止まってしまうことがあります

途中で迷いやすいポイントを、
少しでも整理しています

お墓じまいで 迷いやすいポイント

- ・ 現場で分かること
- ・ 見積もりの前提
- ・ 判断のタイミング

この3つで
手が止まることがあります

■ケース①

現場で初めて分かる条件がある場合があります

工事に入る直前になって、

「この場所は土の入れ替えが必要です」
と伝えられることがあります。

その時点で、
一度手が止まってしまうケースもあります。

これは、土に還る供養の考え方や、
過去の土葬の名残によるものでもあります。

事前の想定と、
実際の条件に違いが出る場合があります

その結果、
進め方を見直す必要が出てくる場合があります

※このほかにも
・カロートのあるお墓 ・基礎が深いお墓
などでも、同様のことが起こる場合があります

ここで手が止まる方も少なくありません

事前に復旧条件を確認しておくことで、
進め方が見えやすくなります。

■ケース②

見積もりの前提が揃っていない場合があります

工事の途中で、
「石が大きいため、追加の対応が必要になります」
と伝えられることがあります。

その時点で、
一度手が止まってしまうケースもあります。

これは、

現地の状況を確認しないまま、
お墓の広さなどの情報だけで
見積もりが行われた場合に起こりやすくなります。

事前の想定と、
実際の条件に違いが出てことがあります

その結果、
進め方を見直す必要が出てくる場合があります

※このほかにも

- ・搬入経路が確保できない場合
- ・重機が入らない場所

などでも、
同様のことが起こる場合があります

ここで手が止まる方も少なくありません

事前に現地を確認しておくことで、進め方が見えやすくなります

■ケース③

あとから気づくことがあります

工事が終わったあとに、

墓地管理者から
「隣のお墓に傷がついているかもしれません」
と連絡が入ることがあります。

その時になって、
状況を確認する必要があるケースもあります。

思いがけない連絡に、
不安を感じる方もいらっしゃいます

また、

- ・ 隣のお墓との距離が近い場合
- ・ 作業スペースが限られている場合

同様に、影響が出ることもあります

進め方や確認のタイミングによっては、
対応を調整する必要があることもあります

工事後に墓地管理者へ状況を確認しておくことで、
安心して進めやすくなります

■まとめとして

共通しているのは

進めやすさが変わるのは
流れが見えているかどうかです

- ・ 今どこにいるのか
- ・ 次に何をするのか
- ・ 何が未確定なのか

これが分かるだけで、

進めやすさが
少し変わっていきます

私たちは、
進め方を
ひとつの流れとして整えています

- ・ 状況の整理
- ・ 条件の確認
- ・ 見積もりの確認

一人で抱えなくていい状態を
つくっています

もし

自分の場合はどう進むのか
少し気になったら

自分の進め方を整理してみる（無料）

お墓じまいの窓口について知る

まだ何も決まっていなくても
大丈夫です